

***FACTOR***

***FACTORBIKES.COM***

# 2025 SLICK MANUAL

## INTRODUCTION

FACTOR 製品をご購入いただきありがとうございます。

以下の手順をよくお読みになり、正しい操作と使用のためにのみ従ってください。以下の手順と警告に従わない場合、製品が損傷したり、自転車 that 損傷したり、深刻な状況では怪我や死亡につながる可能性があります。

適切な組み立てと取り付けには特定のツールと自転車のサービス経験が必要なため、資格のある自転車整備士が製品を組み立てることをお勧めします。

FACTOR BIKES は、製品の不適切な組み立てと取り付けによる損害や怪我については一切責任を負いません。

## LIMITED LIFETIME WARRANTY ON BICYCLES AND FRAMESETS

FACTOR の限定生涯保証を受けるには、[www.factorbikes.com](http://www.factorbikes.com) にアクセスし、購入後 15 日以内に製品を登録してください。

## WARRANTY



## PRODUCT REGISTRATION



## Hose routing

- リアブレーキを取り付けし、ホースをフレーム内に通してヘッドチューブから外に出します。
- アンチラトルリアブレーキホースのフォームスリーブを取り付けます。
- アンチラトルホースカバーの透明なプラスチック製の耐摩耗ガード部分がヘッドチューブに隣接していることを確認し、ステアラーの回転からブレーキホースを保護します。



NOTE: 注意: SRAM 160mmリアローター使用時には、付属のアダプターを必ず使用してください。

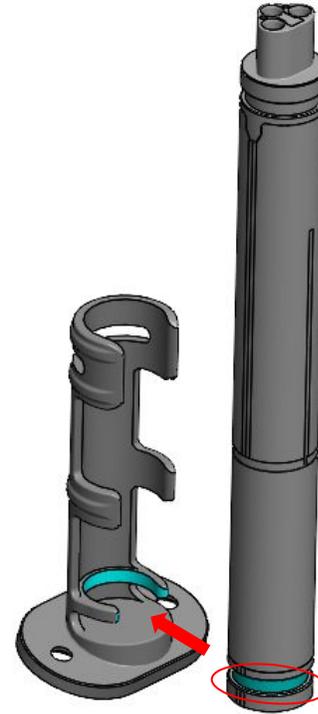
## Di2 routing

- 必要に応じて、フロントディレイラーとリアディレイラーのDi2ワイヤーを取り付けます。これらは、BT DN300バッテリーに取り付けるために、バッテリー取り付けホールから延長します。



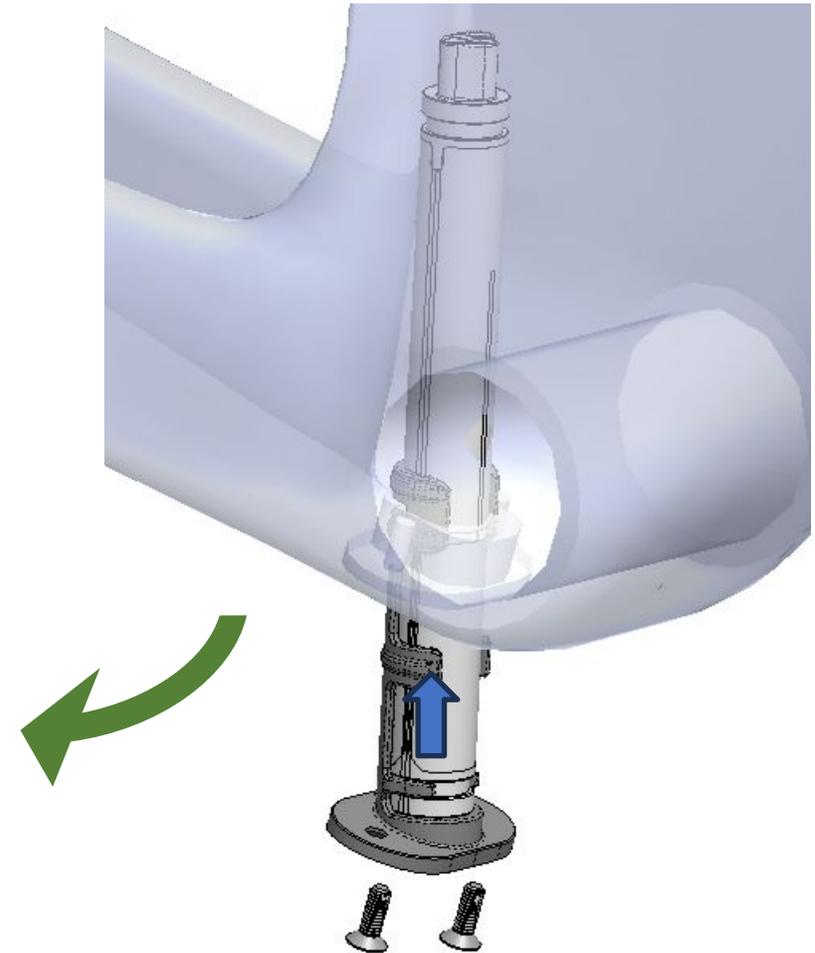
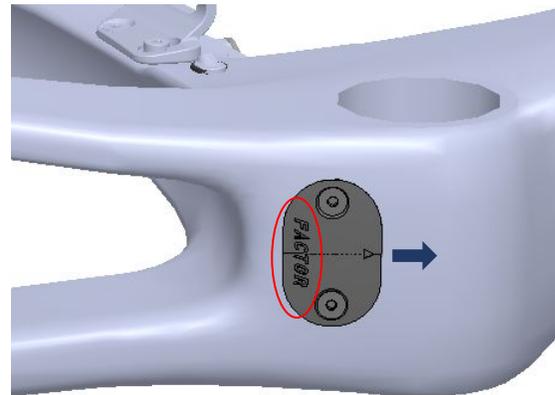
### Di2 Battery installation

- Di2バッテリーをバッテリーキャリアに取り付けます。
- Di2プラグをバッテリーに取り付けますが、最良の機能を確保するために、RD(リアディレイラー)をセンターのプラグ位置に取り付けます。
- 道路の状態(例:石畳)に応じて、バッテリーホルダーには電気テープの巻きや ジップタイを追加することがあります。  
極端な場合には、バッテリーの上部をハンドルバーテープなどのフォームテープで囲むことで、あらゆる「ノッキング」の可能性を軽減することができますが、通常の使用では必要ありません



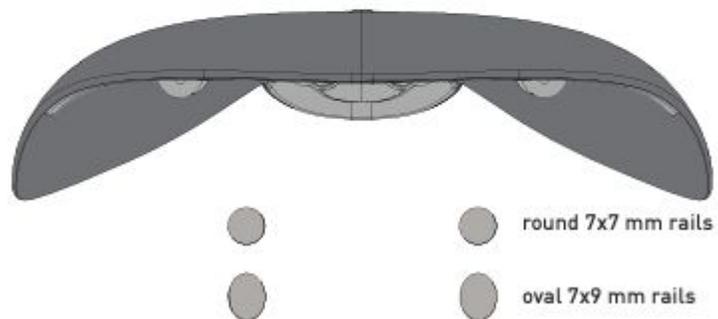
### Di2 Battery fixation

- Di2バッテリーホルダーとワイヤーを慎重にフレームに差し込み、ケーブルに適切な緩みを残しておきます。これにより、バッテリーを通過させる際にケーブルを曲げないようにします。
- バッテリーホルダーを固定するために、2本のテーパヘッドネジ (ゆっくりと最大2Nm) を取り付けます。



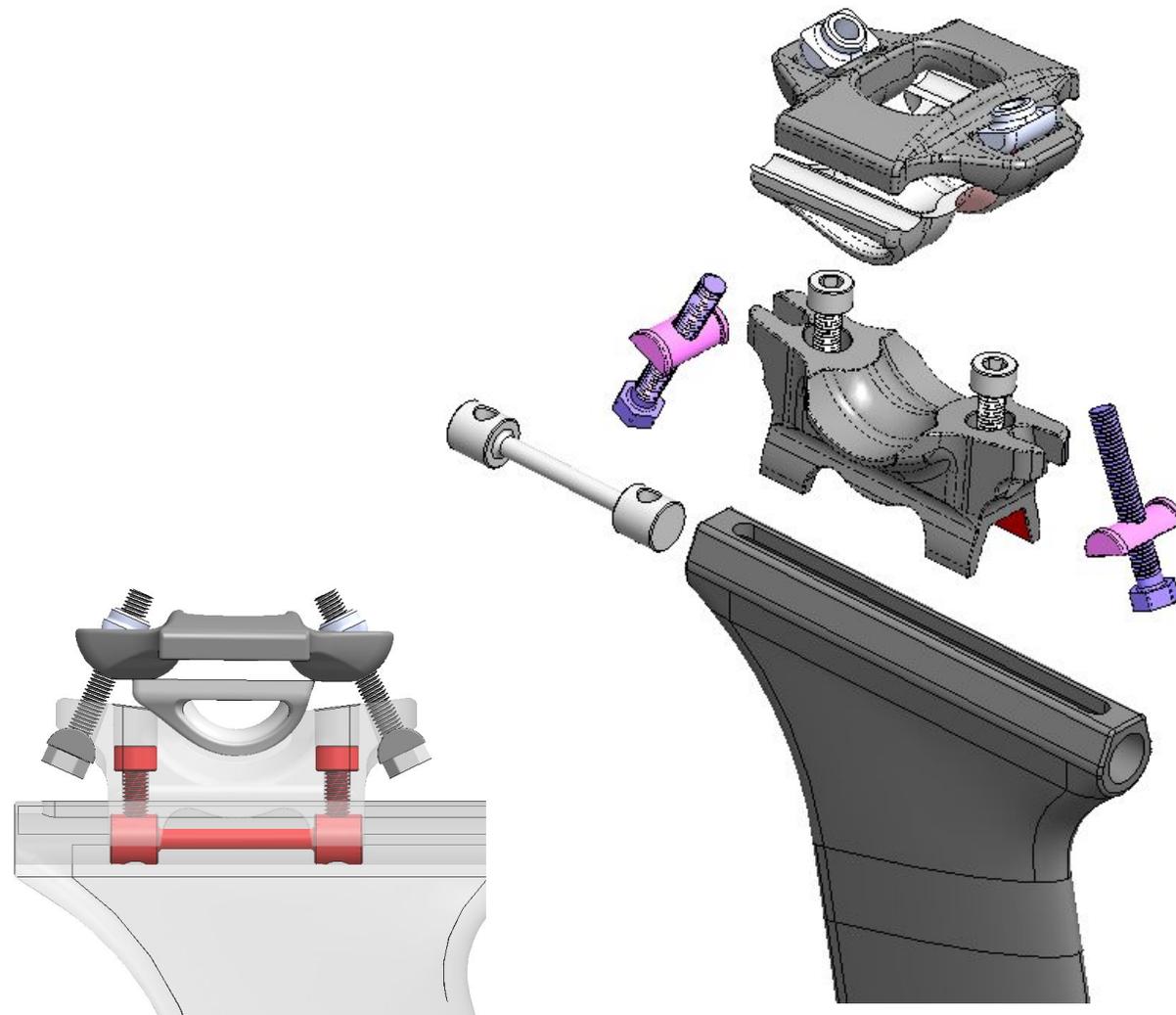
### Seat attachment

- サドルのSPレールのタイプを特定し、ピザボックスの部品から適切なクランプを選択してください。



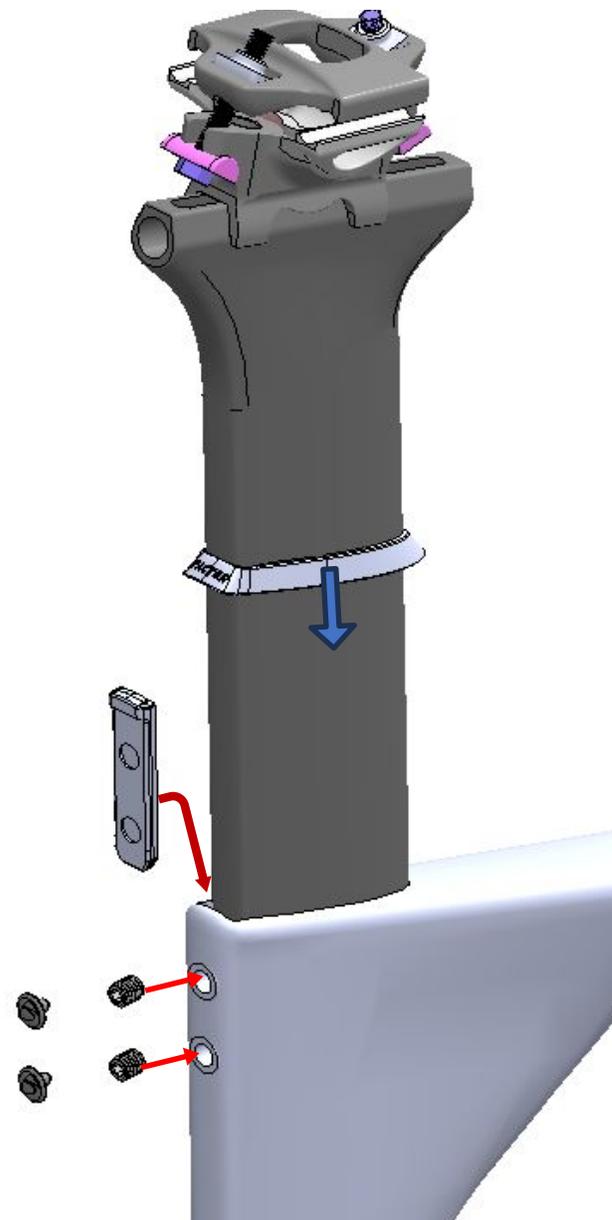
Factorのフレームセットは、カーボンレールサドル用の7x9mm外側レールクランプが付属しています。従来のサドルレール用の7x7mm外側レールクランプは、TRISPORTSの販売店を通じて入手可能です。

- SPクランプアセンブリにカーボンペストを十分に塗布し、シートポストクランプを組み立て、サドルの角度と後退幅を調整し、ゆっくりと最大12Nmで締め付けてください。



### Seat Post fixation

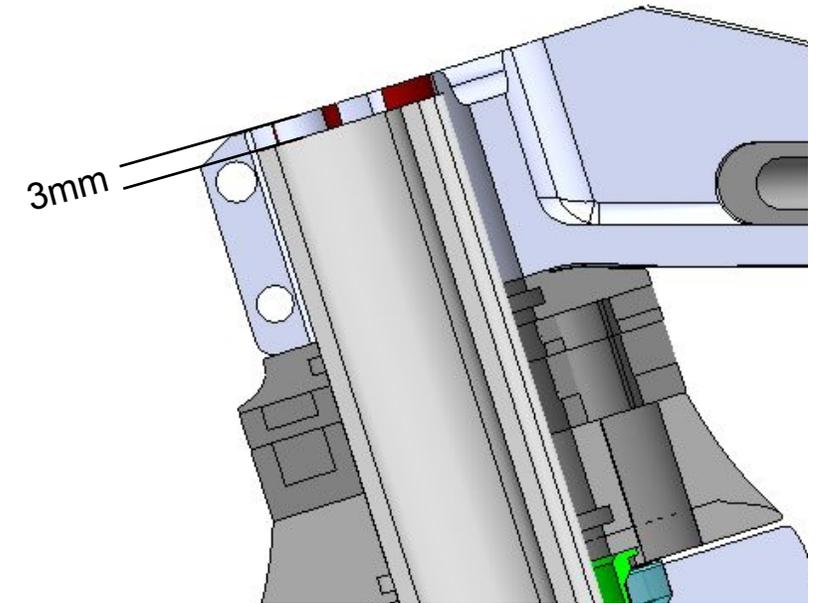
- シートポストクランプの裏側にグリースを塗り、シートポスト穴の後ろにあるフレームの平らな部分の内側に「貼り付ける」ようにします。
- シートポストガスケットをシートポストに差し込みます。
- シートポストにカーボンペーストを十分に塗布します。
- 希望のサドルの高さを設定します。
- 上部の固定ボルトと下部の固定ボルトを半回転から  $\frac{3}{4}$  回転程度の範囲で交互に締めます。高品質のツールを使用して 5 ~ 6 Nm で均等に締め固定します。



### Steerer

- スペーサーの正しい数を決定し、フォークステアラーチューブを切断します。

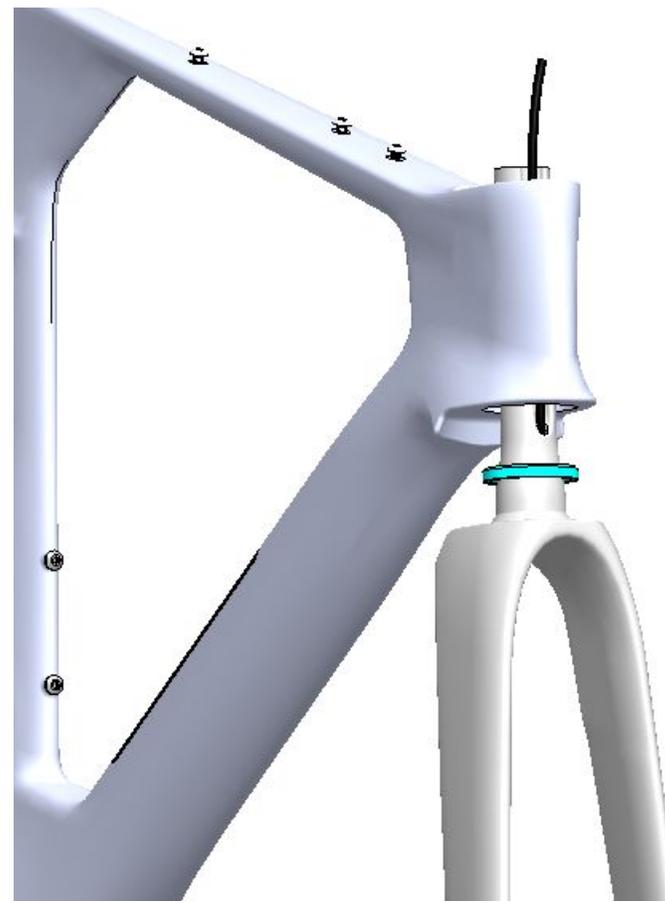
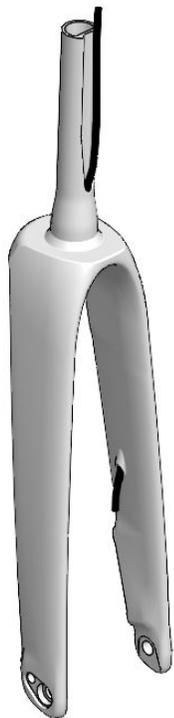
事前にステムの上部から 3 mm 下でフォークステアラーカットされることを確認します。



**WARNING!** フレームセットに付属するスペーサー（背の高いヘッドセットカバーを含む）は最大 40 mm までのみ使用してください。

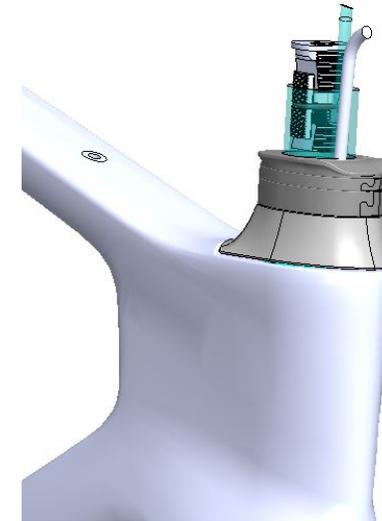
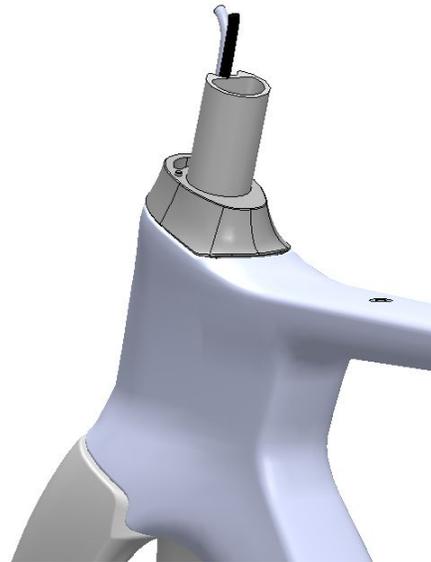
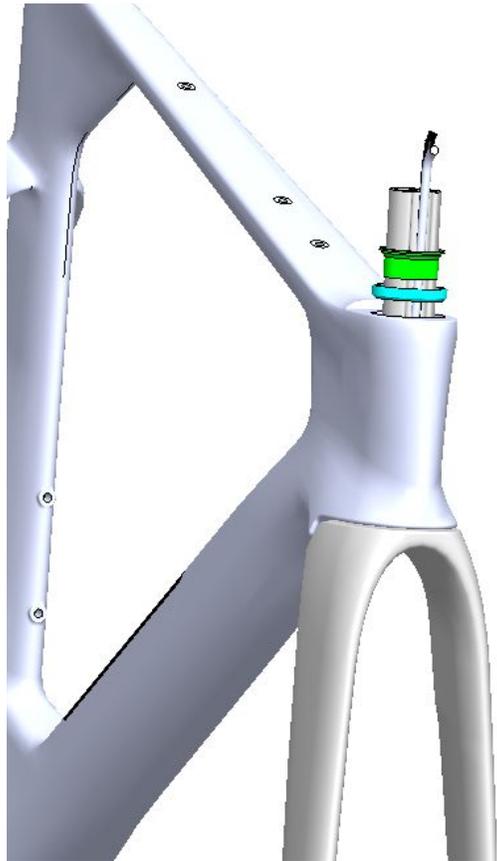
### Fork mounting

- フォークの下から上に向かって、フロントブレーキホースをフォークに通します。下部ベアリングをこのホースと切断されたステアラーチューブの上に通します。
- 下部ベアリングに薄くグリスを塗布し、同時にリアブレーキホースをアンチラトルハウジングに戻します。  
注:まれに、ベアリングのグリスが固い場合があります。十分に馴染ませた上でご使用ください。  
そのまま使用しても問題ありませんが、ハンドリングが馴染むまでに、時間を要することが御座います。



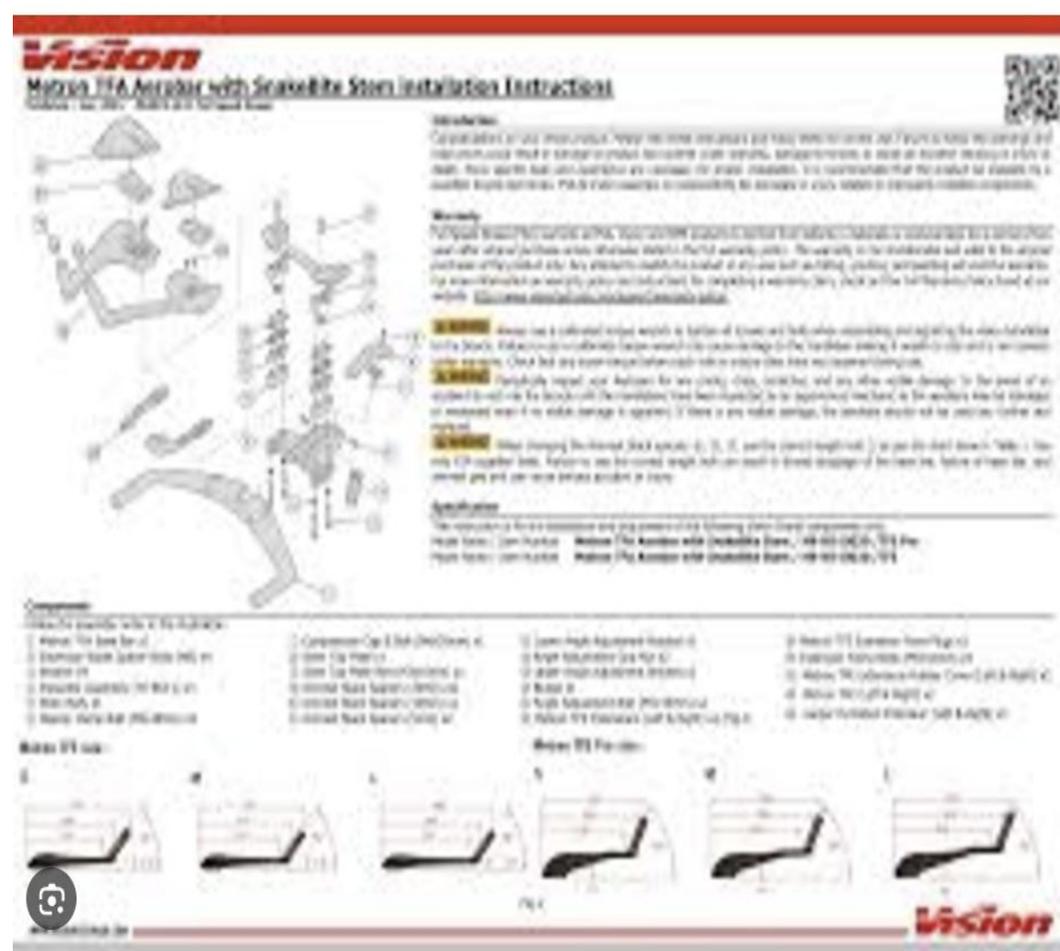
### Top bearing

- 上部ベアリングとスプリットリングに薄くグリスを塗布します。
- ホースを上部ベアリング、スプリットリング、および選択したダストカバーを通します。
- 必要に応じてスペーサーを組み立てます。
- コンプレッションプラグをステアラーの上部に取り付け、8 Nmで締め付けてください。



## Handlebar Installation

- ホースの配線方法については、ハンドルバー製造元の別マニュアルを参照してください。
- FSA/Visionハンドルバーの場合、visiontechusa.comからこの情報を取得できます。



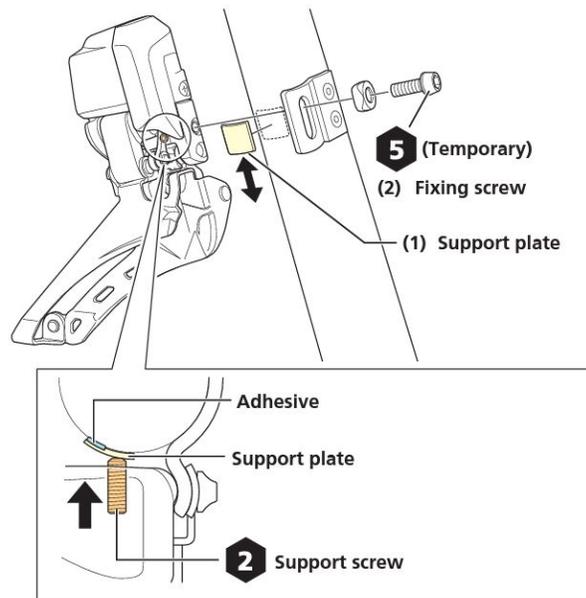
## FDM

- サポートプレート、ウェッジ、ネジに関するすべての製造元の推奨事項に従い、FDM を 3Nm 以下で締めてください。

### Installation/removal

#### Temporarily installing the front derailleur

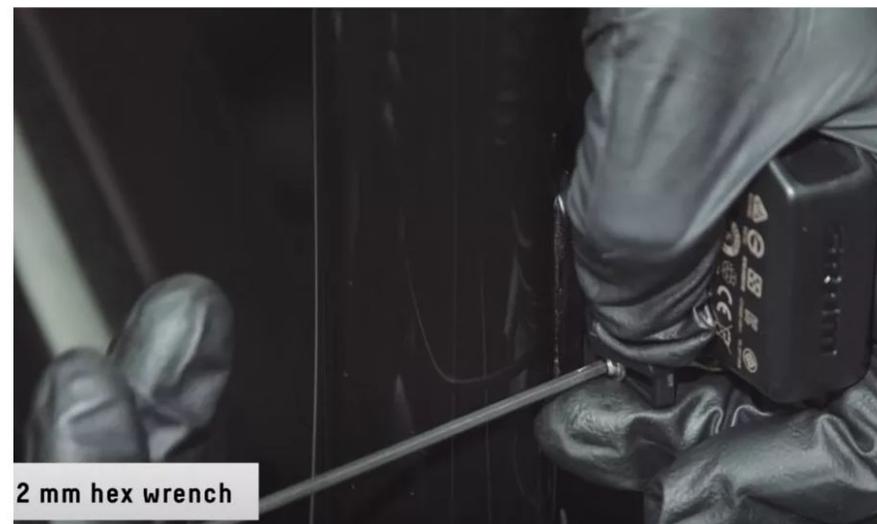
(2) Temporarily install the front derailleur.



### CHECK THE WEDGE

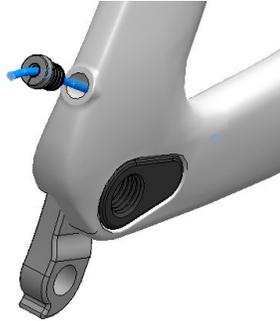
Look at the back side of the front derailleur to see if the support wedge is installed and adjusted properly. Without it, outer limit adjustment needs to compensate to produce a fast shift, but then you run the risk of an over up-shift chain drop.

If the wedge is missing on a bike that came with an eTap AXS front derailleur, see your local dealer to ask for a free replacement. If you bought the derailleur to install on a bike, a selection of wedges was included in the original packaging. This is an important part of the front derailleur setup process because it provides a significant increase in stability when upshifting to the big ring.

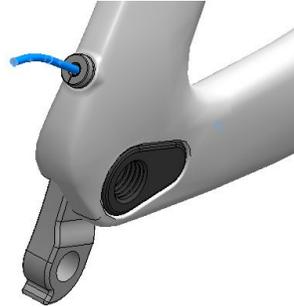


## Grommets

- Install the front and rear grommets

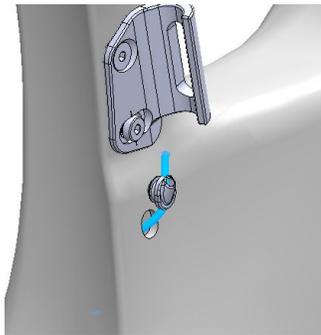


リアディレイラーのDi2ケーブルをチェーンステイに経路設定します。

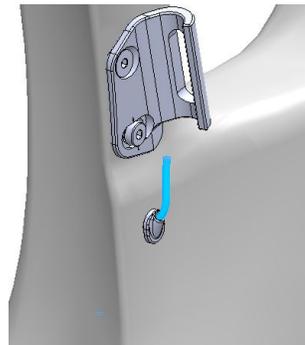


Di2ケーブルのグロメットを取り付けます。

Di2ジャンクションBに接続します。



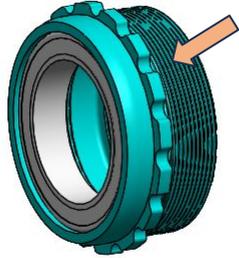
フロントディレイラーのDi2ケーブルをシートチューブの穴からボトムブラケットの出口ポートまで経路設定します。



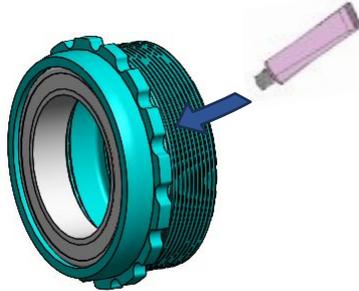
Di2ケーブルのグロメットを取り付けます。

Di2ジャンクションBに接続します。

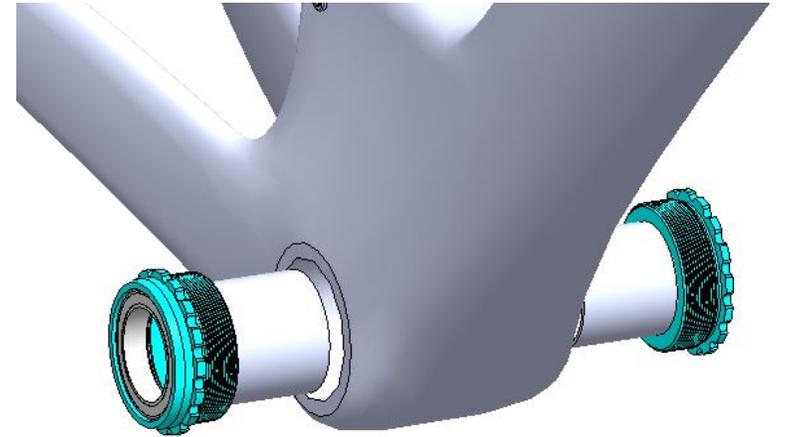
## 2025 SLICK



フレームのボトムブラケットとボトムブラケットカップの内側をイソプロピルアルコールで清掃します。

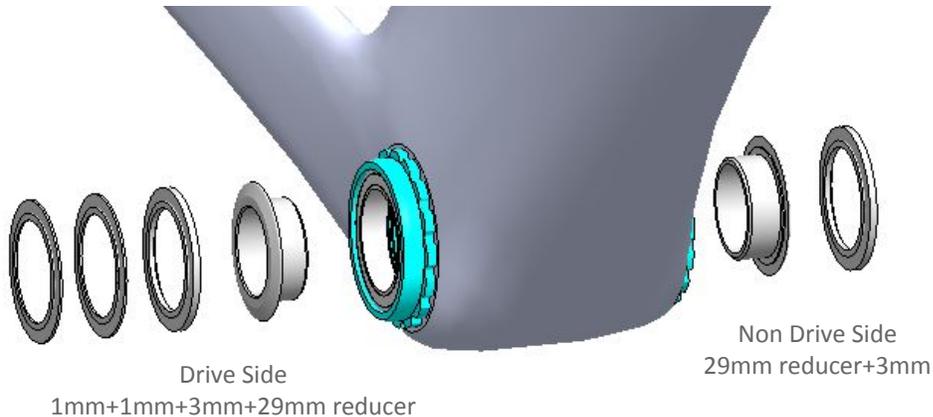


両方のボトム ブラケット カップのねじ山に、高品質の組み立てペーストを塗布します。Morgan Blue (Aquaproof Paste) または r.s.p. (Creak Freak Assembling Paste) の組み立てペーストをお勧めします。



カップをフレームにねじ込み、ドライブ側では 30Nm、非ドライブ側では 40Nm までカップを締め付けます。

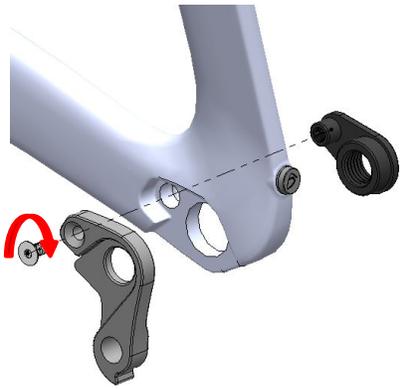
SRAM DUB クランクセットの場合、付属の 29mm リデュースとスペーサーを次の順序で取り付けます。



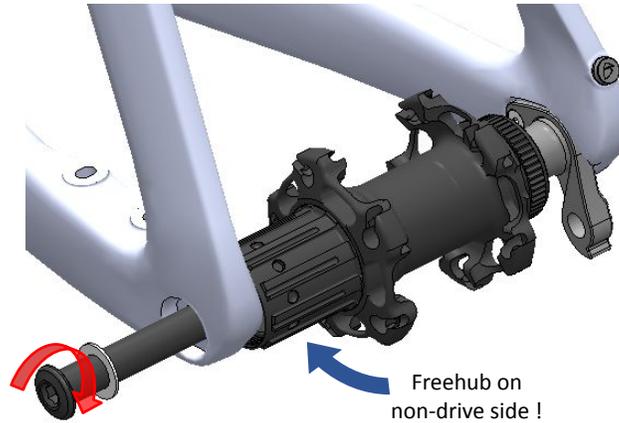
Shimano Hollowtech II クランクセットの場合、付属の 24mm リデュースとスペーサーを次の順序で取り付けます。

Drive Side  
24mm reducer

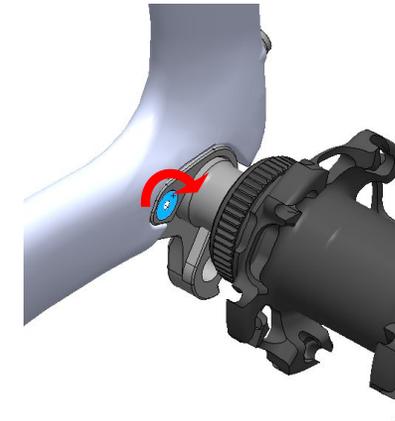
Non Drive Side  
24mm reducer+1mm+1mm+0.5mm



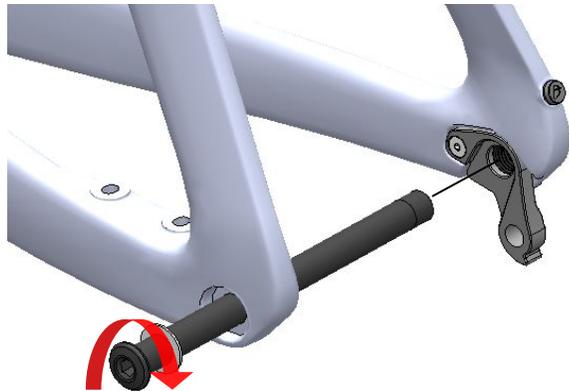
ボルトのスレッドにLoctite 243を塗します。ボルトを締め付けないで挿入します。これにより、アクスルを取り付ける際にインサートが整列するようにします



リアハブをドロップアウトに取り付けます。フリーハブを非駆動側に配置します。これにより、次のステップのアクセスが向上します。ナイロンワッシャーを使用してスルーアクスルを取り付け、12Nmで締め付けます。

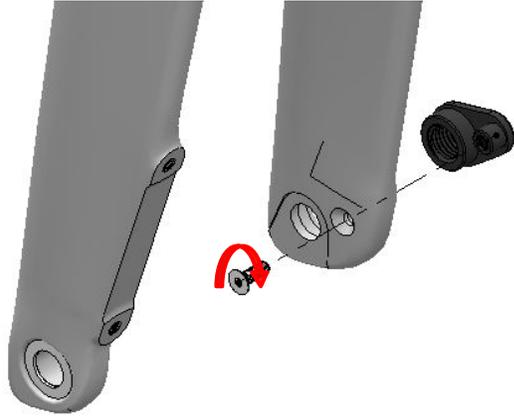


ドロップアウトインサートが正しく整列していることを確認した後、ドロップアウト ボルトを1 Nmで締め付けます。



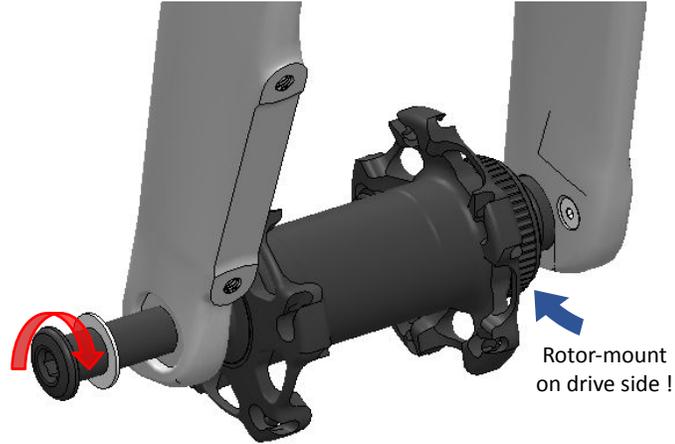
スルーアクスルを外し、ハブを取り外します。リアホイールを取り付け、スルーアクスル(ナイロンワッシャーを使用)を12Nmで締め付けます。

## 2025 SLICK

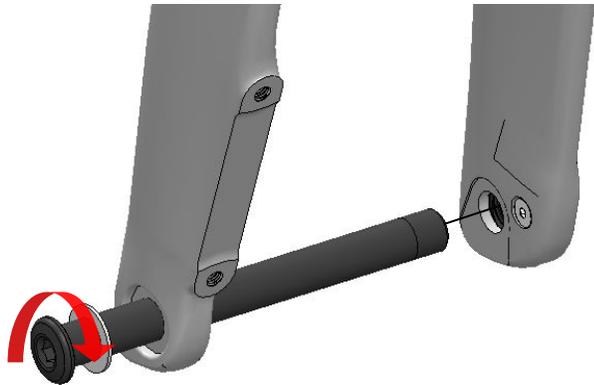
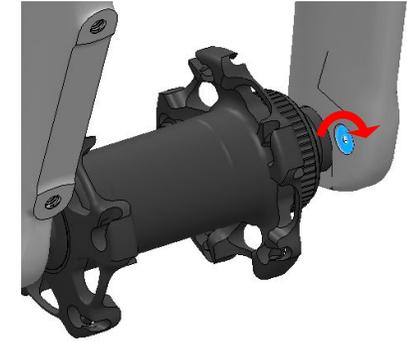


ボルトのスレッドにLoctite 243を塗布します。ボルトを締め付けないで挿入します。これにより、アクスルを取り付ける際にインサートが整列するようにします。

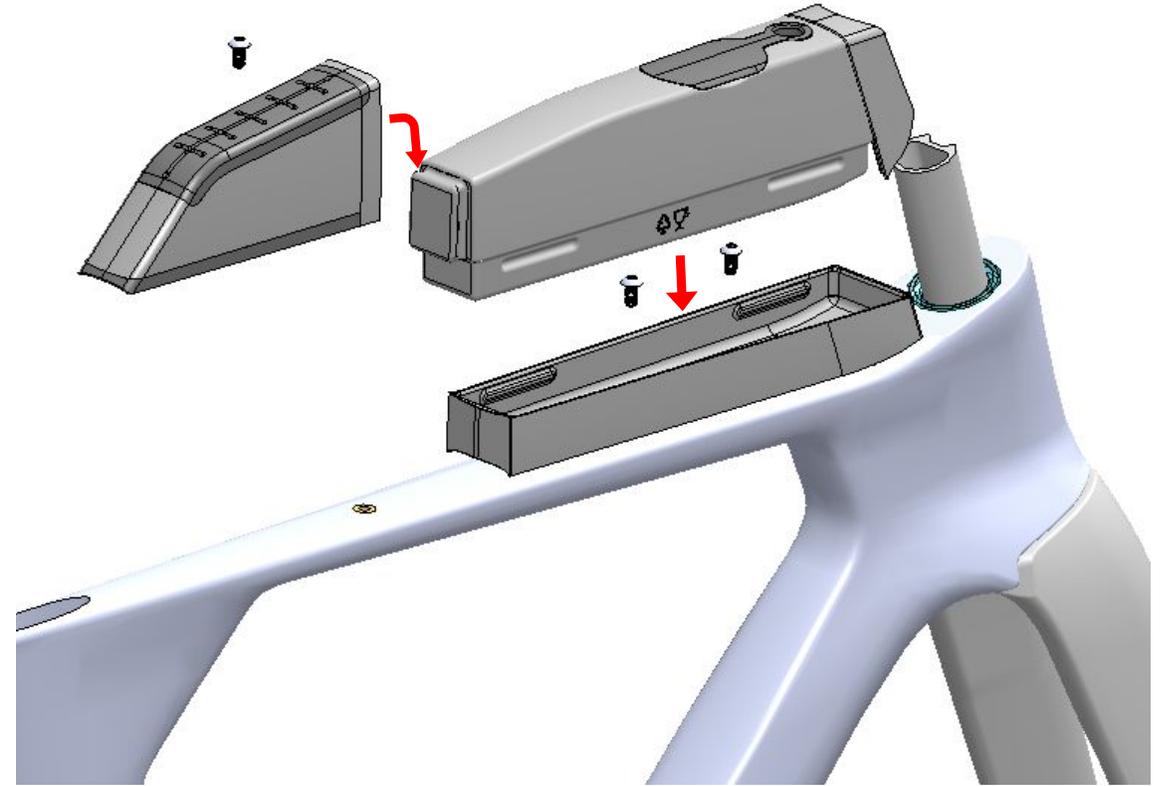
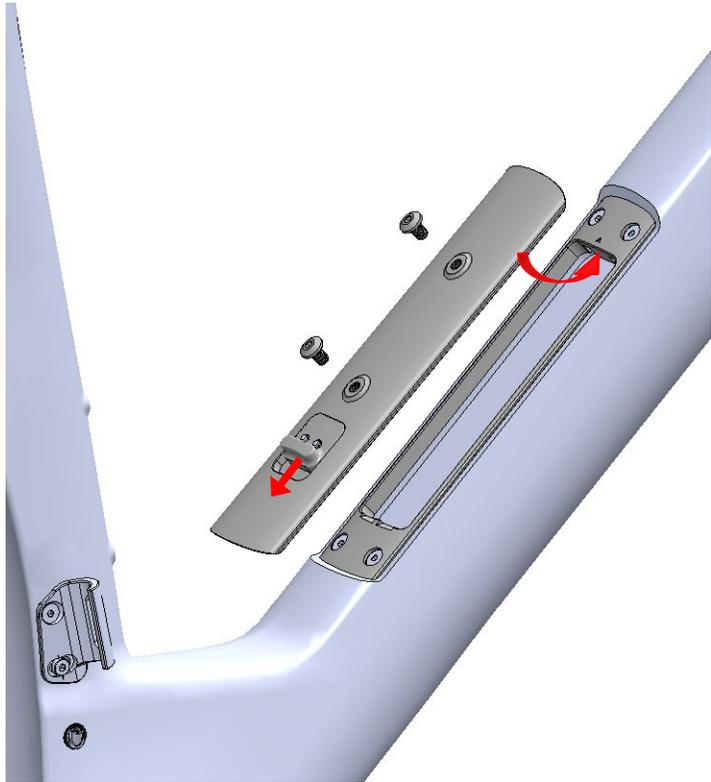
フロントハブをドロップアウトに取り付けます。フリーハブを非駆動側に配置します。これにより、次のステップのアクセスが向上します。ナイロンワッシャーを使用してスルーアクスルを取り付け、12Nmで締め付けます。



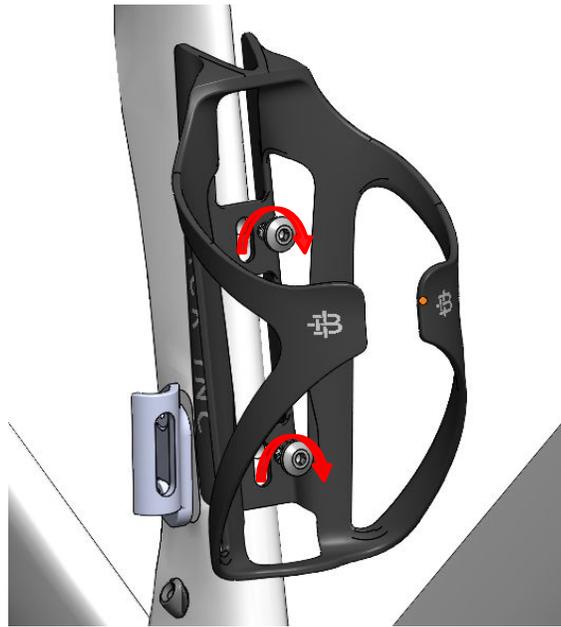
ドロップアウトインサートが正しく整列していることを確認した後、ドロップアウト ボルトを1 Nmで締め付けます。



スルーアクスルを取り外し、ハブを取り外します。フロントホイールを取り付け、スルーアクスル(ナイロンワッシャーを使用)を10Nmで締め付けます。



パーツを取り付け、M5ボルトをHex3ツールで2Nmで締め付けます。



ケージを取り付け、M5ボルトをHex3ツールで2 Nmのトルクで締め付けます。

***FACTOR***

***FACTORBIKES.COM***